



ヤマザクラなどの苗木120本を市民らで植樹

森林を大切に育てよう

～全国植樹祭阿仁地区記念植樹～

来年の6月15日に開催される全国植樹祭の記念事業として11月3日、阿仁地区で銀山町内会、幸屋渡地区の市民約60名が参加し、ヤマザクラなどの植樹が行われました。

この植樹は、市民の協働により樹木を植え、育てることを目的に、全国植樹祭推進室が主催。植樹されたのはヤマザクラ、ヤエザクラ、レンゲツツジの苗木120本で、多くの市民が観賞できるよう各集会所周辺やグラウンド・テニスコート周辺に植えられました。

当日会場には「森つち」が訪れ、森林を大切にすることを将来の世代に引き継ぎたいと思いを込めて作業をする市民を激励し、かわいしうきで全国植樹祭をPRしていました。



地元の特産品販売や故郷の味を堪能した懇親会

写真上：第20回東京鷹巣会

写真下：第21回東京ふるさと森吉会

ふるさとの味を懐かしむ

第20回東京鷹巣会総会・第21回東京ふるさと森吉会総会

首都圏に在住する旧鷹巣町出身者の会東京鷹巣会の第20回総会・懇親会が10月20日、東京都内のホテルで開かれ、関係者およそ190人が郷里の話題などで旧交を温めました。

菊地靖孝会長は「東京鷹巣会は首都圏在住者とふるさと鷹巣との募情の架け橋となる大きな役割」などあいさつ。

引き続き岸部市長が9月19日の豪雨災害について被災報告やその対応などについて説明しながら、20年の節目を祝いました。

この後参加者たちは、きりたんぼなどの郷土の味を堪能しながら、鷹巣マンドリンクラブの演奏を楽しみました。

また、第21回東京ふるさと森吉会総会が10月28日、東京都のアルカディア市ヶ谷で会員、市関係者ら約150名が参加して開催され、一年ぶりの再会となった一日を楽しみました。総会で松岡利男会長が先の豪雨災害に触れながら「人との出会いを大事にし、輝かしい未来に向かって進んでいきたい」とあいさつ。交流会ではマルメロワインで乾杯するなどしてふるさとの味を楽しみ、最後は全員で「故郷」を大合唱して、来年の再会を誓い盛会に終了しました。また会場では地元から持ち込んだ特産品が販売され、ふるさとの懐かしい味を求めて完売になるほどの盛況でした。

新鮮な野菜・果物はいかが

～鷹巣駅前商店街通り 軽トラック市～

新鮮な野菜や果物、山菜などを軽トラックに満載して販売する軽トラック市が11月4日、鷹巣駅前商店街通りで行われ、買い物に訪れた市民らで賑わいました。

このイベントは、まちの賑わいづくり事業の一環で、当日、歩行者天国となった鷹巣駅前商店街通りには新鮮な野菜や果物を積んだ軽トラックが15台、フリーマーケットの参加者16団体、また、商店街の各商店が軒先に商品を並べるなどし、新鮮野菜などを求める買い物客で通りは活気に満ちていました。今年初となったこの軽トラック市は、来年5月頃に再開し、月1回のペースで開催される予定です。



商店街通りを歩行者天国にして行われた軽トラック市

美味しい比内地鶏料理をPR

～「比内地鶏の美味しい店」旗揚げ式～

北秋田市うめーもん創作協議会（松田正男会長）による「比内地鶏の美味しい店」旗揚げ式が10月22日、市内のホテルで開かれ、比内地鶏メニューを提供する飲食店の経営者らが、ロゴ入りののぼりを手に氣勢を上げました。

旗揚げ式は、比内地鶏メニューを提供する24業者25店の店先や商店街などにのぼり旗を掲げ、パンフレットなどを配布。北秋田の「美味しい」比内地鶏料理を市内外にPRするセレモニーとして行われたものです。

掲揚店では、共通メニューとして比内地鶏を使った親子丼が用意されるほか、焼き鳥、刺身、から揚げなどその店オリジナルのメニューも提供されることになっています。



おいしい比内料理を市内外にPRしようで行われた「比内地鶏の美味しい店」旗揚げ式

ふるさとの味を届けます

～合川ふるさと会「ふるさと便」～

全国各地にふるさとの味をお届けする、合川ふるさと会の「ふるさと便」の発送が10月23日、大野台ハイランドハウスで行われました。

ふるさと便は、合川地区にゆかりのある方や、合川出身者、旬のふるさとの味を楽しみにしている方などに、会員制で旧合川町が昭和62年から実施しているもので、今年で21年を迎えました。

今年の第1便は、合川産新米あきたこまちをはじめ、さつまいも、味噌、梅漬けなど地元で収穫された食材を、首都圏を中心に北海道から九州などに142個を発送しました。



ふるさと便の発送作業を行う作業員